

総合図書館 清教リブラリア

2020 年度 事業報告

- ・ 十年來の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案
- ・ 文部科学省の学校図書館事例集に Web 公開される
- ・ コロナ禍とリブラリア：開館日数減少の中で工夫続く
 - ①WebOPAC 構築と予約サービス開始
 - ②トークライブ & 動画配信企画
 - ③全国の学校図書館との連携行事「ほんトーク」中学編、高校編開催

付録 図書館リブラリア 書架増築計画（案）

清教学園中・高等学校 図書館教育

2021 年 6 月 23 日

目次

I	トピック	p. 3
	十年來の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案 文部科学省の「学校図書館事例集」に Web 公開される コロナ禍とリブラリア：開館日数減少の中で工夫続く	
II	施設概要	p. 6
III	資料統計	p. 6
IV	利用統計	p. 8
V	2020 年度の記録	p. 12
	コロナ禍で始まった他府県との「ほんトーク」 第 22 回図書館総合展_ONLINE 来場者投票賞受賞 宗教部・リブラリア共催「クリスマス会」実施 学級文庫「すくどの本」、高校へ 動画で卒業論文発表会 コロナ禍と総合学習：オンライン学習期間中の授業 デジタルサイネージの導入 図書館での学びを通じた、生徒の進路開拓 リブラリアに関係した生徒作品の受賞等	
VI	課題	p. 21
VII	図書館リブラリアの歩み 2020	p. 22
	巻末付録：図書館リブラリア 書架増築計画（案）	

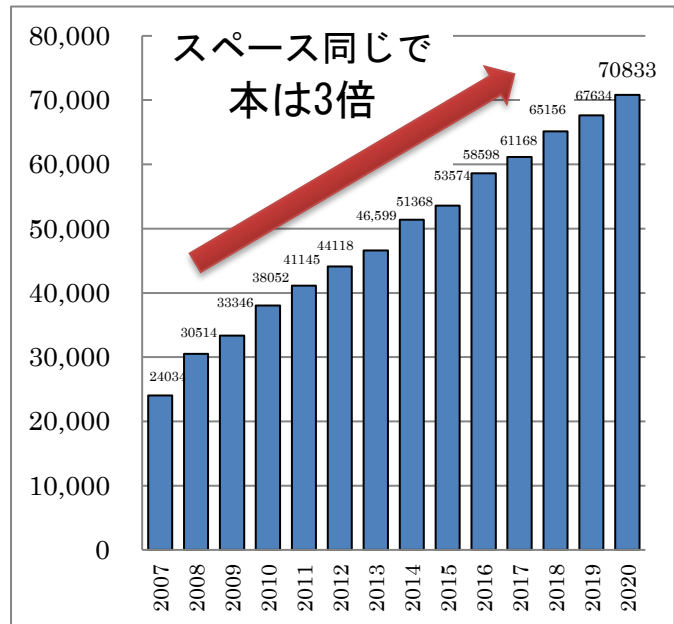
I トピックス

十年來の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案

蔵書スペースの限界については2010年から事業報告の課題として取り上げてきました。文字通り十年來の課題です。その間、床面積に変化はなく、蔵書数は統計を正確に取り出した2007年の24034冊に比べて、ほぼ3倍増の70833冊となりました。これまでに、書架の配置や増設、書棚の位置の微調整を繰り返してきましたが、限界が訪れました。

本年度は書架過密のため廃棄点数が1400点越え、複本や新版・文庫版ありのハードカバーなどをやむをえず廃棄せざるを得なくなりました。しかも開架書棚でも棚の高さを制限したため、A4大の本を横置きにせざるをえず、極めて危険な状態です。

現状のままでは、生徒の利用にも影響が生じるため、本年度現総合学習室の開架化・スタディホールの総合的学習室化を管理職・理事会に提案しました。提案の詳細は付録の「図書館リブラリア 書架増築計画（案）」を参照して下さい。



開架書庫はスペース節約のために本を寝かせ書棚を増設しているため、背表紙が一部見えなくなっている(写真左2枚)。書庫では書架に重ねて本を入れているため、背表紙すら見えない状態(写真右枚)。

文部科学省の「学校図書館事例集」に Web 公開される

文部科学省の令和元年度委託事業として「図書館実践事例集～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～（学校図書館）」にリブラリアが掲載されました。タイトルは「生徒の賜物を育む学校図書館：子どもが自ら発案し、実行できる場」です。

[生徒の賜物を育む学校図書館\(大阪府清教学園中学校・高等学校\) \(PDF:2.2MB\)](#)

https://www.mext.go.jp/content/000008050_062.pdf



コロナ禍と学校図書館リブラリア：開館日数減少の中で工夫続く

パンデミックとなった新型コロナウイルス(COVID-19)により、2019年度末からリブラリアの状況は激変しました。突然の休校措置から春休みへと、慌ただしく情勢が移り変わる中で迎えた2020年度です。休校の継続・スタッフの在宅勤務・オンライン学習への移行と、子どもたちの学習環境とスタッフの勤務状況も大きく変化せざるをえませんでした。年間の開館日数は252日で昨年から3日、平常の2018年度に比べて24日減少しました。同時に、中3の卒業論文「なんでやねん」の発表会も録画によるはじめての発表会となりました。

コロナ禍であっても、図書館チームは「この状況で何ができるか」を議論し、「とりあえず提案して、連携してやってみる」を体現してきました。たとえ学校という場に来られなくとも、図書館の役割は資料と利用者を繋ぐことです。それを目標にすれば、制限の中でも様々なことに挑戦でき、時代に合った新しいサービスも閃きます。2020年度は困難の年であったと同時に、リブラリアがたくさんの新しい挑戦に踏み出した年でもありました。以下に、コロナ禍で生まれた図書館企画とサービスの一部を紹介します(本年度の活動にも関連記事があります)。

①WebOPAC 構築と予約サービス開始

普段は過密状態で、滞在型利用も多いリブラリア。感染対策として、利用者の滞在時間短縮が必要です。そこで挑戦したのが「WebOPAC 構築と予約サービス」でした。利用者が自宅で蔵書検索し、資料予約ができれば、利用時間の短縮に繋がるという発想です。

今回使用したのはカーリルの「学校図書館支援プログラム」です。カーリルは日本最大の蔵書横断検索サービスで、2020年3月の緊急事態宣言をきっかけに、学校図書館向けの無償WebOPAC構築サービスを提供していました。蔵書データ(CSV)を送れば、カーリルサイト内に自館のWebOPACが構築される、という取り組みです。しかも無料のアンケートシステム「GoogleForms」と紐づければ、予約サービスも運用可能です。発案からわずか1日で、利用者が自宅から蔵書を検索・予約できるようになりました。予約に応じ司書が事前に資料を準備することで、利用者の滞在時間短縮が実現。また、過密状態が解消されることで、レファレンスに応じる余裕も出ました。



カーリルのシステムを利用して、長年の懸案だった校外からの検索が実現

②トークライブ & 動画配信企画

「教職員と生徒・生徒どうしが、本を通じてラジオのように緩くつながる」ことを目指して、『本について語るトークライブ』を企画しました。生徒・保護者・教職員向けトーク番組です。

本について語る時には、語る人の個性や人生が滲み出るもの。「恋愛の本」「読み返したくなる本」などテーマを設定し、司書やゲストの教員が思い思いに本を持ち寄ります。参加した視聴者はのべ130名を越え、休校があけてからの資料の貸出にも繋がりました。



リブラリアから自宅学習の生徒・保護者・教職員に向けてトーク番組を配信

企画はその後、国語科の先生との共同企画に受け継がれ、『教えてください〇〇先生』なるタイトルで配信を継続しました。いずれの放送回においても視聴者からは、普段知りえない教職員の価値観や読書観、プライベートが垣間見えて楽しい、という意見が複数寄せられました。また「両親とも外で働いています。ライブを見ていると家に1人でいても寂しくなく、うれしいです！」といったように、休校による寂しさの解消に一役買っていたこともわかりました。



『教えてください〇〇先生』の楽しいトークが大好評

放送回	配信タイトル	形式
No.1 2020/04/30	「恋愛の本」をテーマに図書館の先生が本を紹介する	ライブ
No.2 2020/05/18	「読み返したくなる本」をテーマに図書館の先生が本を紹介する①	ライブ
No.3 2020/05/29	「読み返したくなる本」をテーマに図書館の先生が本を紹介する②	ライブ
No.4 2020/06/19	教えてください佐竹先生 -先生、どんな本読んでますか-	収録
No.5 2020/06/25	教えてくださいM先生 -先生、どんな本読んでますか-	収録
No.6 2020/07/21	「読み返したくなる本」をテーマに清教生と千里国際生が本を紹介	ライブ
No.7 2020/08/11	図書館の先生が「本じゃない何か」を紹介する!?	ライブ
No.8 2020/09/14	教えてください上田先生 -先生、どんな本読んでますか-	収録

③全国の学校図書館との連携行事「ほんトーク」中学編、高校編開催



清教生と他校の生徒が、学校の枠を超えて、遠隔でトークライブは新しい試み

他校との連携も生まれました。清教生と他校の生徒が、学校の枠を超えて、遠隔でトークライブを行うという取組みも実現しました。「本について語ることは、司書や教員の専売特許ではありません。互いに好きな本を持ち寄り、自身の想いを述べることには、純粋な楽しさがあるようでした。『ほんトーク』と題した本企画は関西学院千里国際、青翔開智、津和野、渋谷教育学園、浪商、広島叡智…など、全国各地の学校に拡がり、現在も継続されています。(詳細は11ページ)

II 施設概要

名称:総合図書館 清教リブラリア

所在地: 〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28, 29) HP : <http://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長・チャプレン:井上良作 中学高校・校長:森野章二

中学高校・副校長:菊岡秀行 中学・教頭: 慎繁範 高校・教頭: 安藤浩明

図書館教育: 片岡則夫 (探究科教諭) 山根美智子 (司書) 南百合絵 (司書教諭)

山崎勇氣 (司書教諭) 上河博美 (非常勤司書) 前野昌子 (非常勤図書館職員)

生徒数: 中学校 495名 (1年153名 2年171名 3年171名)

高等学校 1152名 (1年408名 2年362名 3年382名)

総生徒数 1647名 (昨年度1660名)

職員数 155名

利用者合計 1802名 (昨年度1820名)

学級数: 中学校12学級 高等学校30学級 合計42学級

設置: 2002年4月 (「総合図書館清教リブラリア」として現在の位置で開館)

図書館:

床面積: 約256㎡ カウンター 司書室を含む 座席数: 20席

書庫 (スタディーホール・ホール上)

業務端末: 7台 生徒検索端末: 2台 無線LAN iPad: 3台

蔵書管理システム: LibMax (ソフテック) 図書館発注システム: TOOLi-S (TRC)

総合学習室:

床面積: 約98.2㎡

座席数: 44席 生徒用PC: 50台 教師用PC: 1台 無線LAN

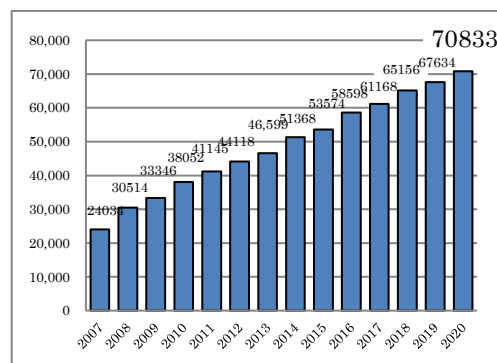
ラーニングcommons:

座席数: 96席 生徒用情報端末: Chromebook 200台 Windows 2台

III 資料統計

資料数は7万点の大台を突破

本年度リブラリアの資料数70833点となりました。2019年度末より3199点の増加です。また、除籍を1439冊行いました。一方紛失は50冊であり昨年の100冊から半減しました。



1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	90	103	499	493	392	282	186	371	48	949	76	3489
%	2.6	3.0	14.3	14.1	11.2	8.1	5.3	10.6	1.4	27.2	2.2	100

2. 購入視聴覚数 0点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
一般寄贈	8	3	23	18	6	15	1	149	1	177	57	458

※ まんが・絵本他には視聴覚資料2点を含む

※ PTA学級図書費購入分も含む

4. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	0	0	0	0	0	0	0	3	13	0	0	16

5. 生徒作品受入分

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3

6. 総受入冊数

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	98	106	522	512	400	297	187	523	62	1126	133	3966

7. 紛失図書

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164	112	194	145	100	100	50
紛失率 (%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.3	0.3	0.21	0.3	0.24	0.16	0.15	0.07

年間紛失率＝年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額 46,628 円

※これまでの紛失図書の累計値

8. 廃棄数冊数 1439 冊 (内雑誌 329 冊) (昨年度 1084 冊)

9. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
生徒作品	50	36	74	234	303	303	303	348	30	31	0	1712
寄贈	251	345	497	677	632	227	162	527	374	4280	591	8563
蔵書合計	1821	3421	5369	8811	8762	5570	4541	8166	1879	20375	2118	70833
%	2.6	4.8	7.6	12.4	12.4	7.9	6.4	11.5	2.7	28.8	3	100

※生徒作品にはテキスト・年報を含む

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 368 点を含む

10. 生徒一人あたりの平均蔵書数 43.0 冊 (70833 冊÷1647 名) (昨年度 39.4 冊)

11. 教室設置図書(すくどの本)の蔵書数・紛失数

分類	総記	哲学	歴史・地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
蔵書数	6	10	3	20	35	2	5	10	15	234	0	340
紛失冊数	0	0	0	1	3	0	0	0	1	19	0	24
分野別紛失率	0.0	0.0	0.0	5.0	8.6	0.0	0.0	0.0	6.7	8.1	0.0	7.1
全体に対する 紛失率	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	79.2	0.0	100.0

※ 2020 年度より高校 2 クラスでも実施

12. 雑誌 (購入 26 誌・寄贈 2 誌)

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	月刊ピアノ	週刊東洋経済	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	THE BIG ISSUE JAPAN	ナショナル・ジオグラフィック 日本版
ダ・ヴィンチ	オレンジページ (隔週)	進学通信	進学通信 (関西版)
季刊デザインノート	日経エンタテイメント	アニメージュ	エアライン
エル・グルメ	キーボードマガジン	キネマ旬報	ロッキングオン・ジャパン
熱風	ブルータス	mundi (寄贈)	ねこのきもち (寄贈)

13. 新聞 (購入 3 誌)

読売新聞	毎日新聞	the japan times
------	------	-----------------

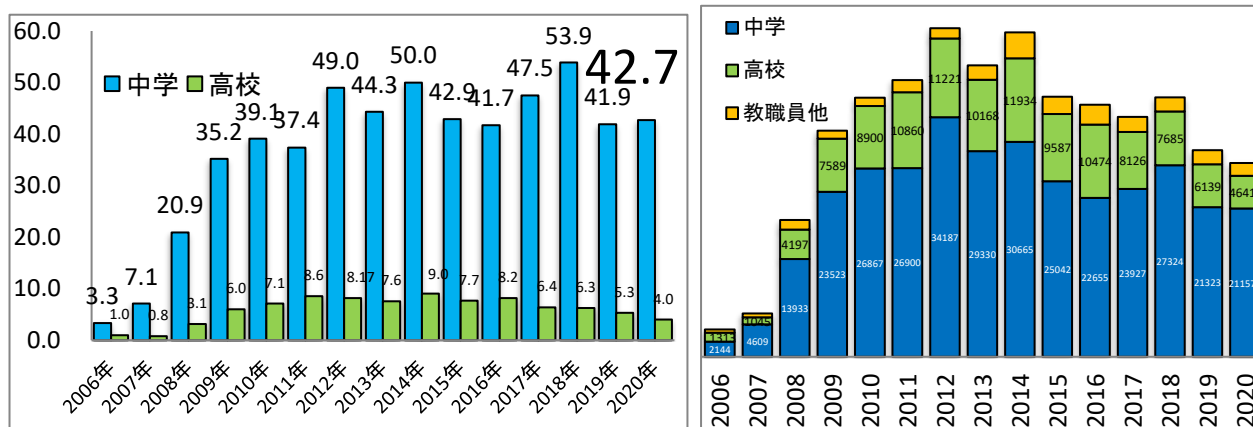
データベース

朝日けんさくくん

IV 利用統計

貸出数は中学で回復・高校は大幅減

2020年度のひとりあたりの年間貸出冊数は全生徒で15.6冊となり昨年度より0.9冊の増でした。中学が42.7冊と0.8冊増となりました。一方、高校は4.0冊と1.3冊減となり2019年度をピークに長期の低落傾向が続きます。また総貸出数は27643冊で、昨年に比べて1828冊減少しました。ちなみに、全利用者数は昨年度より18名減少しています。



開館時間 月曜日～土曜日 8:10～18:00 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 252日 (前年度 255日)

授業利用時間 総合学習: 12時間/週 (総合学習室), 社会演習: 4時間/週 (総合学習室), 美術 (随時)
ラーニングcommons: 中高 I P B L, 高1情報の科学 (探究編) 等

スタディホール: キリスト教概論, 保健体育, オンライン英会話, 物理等

貸出方法・期間 貸出冊数: 20冊まで / 貸出期間: 14日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 27691冊 (昨年度 29471冊)

利用者1人あたりの貸出冊数【貸出密度】 () は前年度

全生徒 15.6冊/年 (16.2冊/年)
 中学生 42.7冊/年 (42.0冊/年)
 高校生 4.0冊/年 (5.3冊/年)
 職員 11.9冊/年 (7.6冊/年)

開館日1日あたりの貸出冊数:109.9冊(前年度115.6冊)

蔵書1冊あたりの平均貸出冊数〔蔵書回転率〕:0.39冊(前年度0.45冊)

(蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

新しい本が図書館にどの程度入ったか〔蔵書新鮮度〕:5.6%(昨年度6.4%)

(蔵書新鮮度=その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100:数値が高いほど書架に新しい本が多い)

リクエスト件数 1176件 (昨年度817件)

複写申請数 56件 (昨年度37件) 複合機によるデジタルスキャンの利用増加で減少継続

他館借受本 290冊 (昨年度約417冊) 河内長野図書館他

年間貸出統計 2020年度

	中1	中2	中3	中学生 貸出合計	高1	高2	高3	高校生 合計	職員	清教 幼稚園	教科他	総貸 出数	開館 日数	1日 平均	予約/リク エスト
4月	0	0	50	50	1	0	0	1	461		0	512	16	32.0	0
5月	211	32	501	744	79	54	24	157	147		0	1048	12	87.3	269
6月	1508	157	1190	2855	126	100	90	316	152		1	3324	26	127.8	147
7月	2211	400	1051	3662	67	105	167	339	108		4	4113	24	171.4	85
8月	660	226	545	1431	132	140	190	462	131		3	2027	25	81.1	90
9月	246	278	235	759	72	83	94	249	121		33	1162	15	77.4	46
10月	552	789	1026	2367	142	230	261	633	155		2	3157	27	116.9	79
11月	303	452	1080	1835	204	136	217	557	110		1	2503	23	108.8	80
12月	634	910	1295	2839	402	152	127	681	169		0	3689	24	153.7	177
1月	460	876	587	1923	156	119	100	375	95		3	2396	23	104.2	95
2月	269	1050	250	1569	140	113	216	469	85		0	2123	18	117.9	56
3月	341	544	238	1123	131	130	141	402	111		1	1637	19	86.2	52
集計	7395	5714	8048	21157	1652	1362	1627	4641	1845		48	27691	252	109.9	1176

分類別貸出冊数と回転率

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視聴覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出冊数	633	891	1399	3338	3807	2658	1876	3347	744	7853	3	133	957	52	27691
分類別 回転率	34.8	26.0	26.1	37.9	43.4	47.7	41.3	41.0	39.6	38.5	54.1			39.1	
蔵書 回転率	0.89	1.26	1.98	4.71	5.37	3.75	2.65	4.73	1.05	11.09	1.62			39.09	

※ 「蔵書回転率」は蔵書1冊あたりの平均貸出冊数 (蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

※ その他は他館からの借受本など。

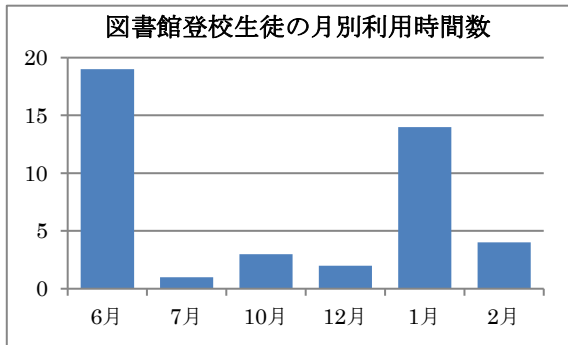
すくど文庫の分類別貸出統計

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本/その他	合計
蔵書冊数	64	90	79	223	340	95	108	227	36	1787	2	3051
貸出冊数	48	59	27	84	76	38	40	42	34	535	1	984
回転率	0.75	0.66	0.34	0.38	0.22	0.40	0.37	0.19	0.94	0.30	0.50	0.32

図書館登校生徒統計

年間利用日数：27日 利用生徒：12名
 年間利用のべ人数：33人
 総利用時間数：46時間（校時）
 （2019年度 1347時間）

図書館登校の生徒は年間で27日の利用でした。コロナの影響で利用者が極端に減少しました。



中学			高校			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	
3	3	3	1	1	1	12

学年別図書館登校生徒数

ラーニングコモンズ利用統計（放課後のみ・4年目）

開室日数：155日（昨年度 170日）
 総利用者数：3514名（昨年 5746名）
 開館日一日あたりの利用者数 22.6/日（昨年度 33.8人/日）
 生徒ボランティア：21人（中学生 10名/高校生 11名）

今年度の開館日一日あたりの利用者数は22.6人/日でした。コロナ禍で休校期間も長く、開室してもコロナが心配ですぐに帰宅する生徒が多く利用者が激変しました。生徒のボランティアが今年度21名になり生徒が運営する自習室になりつつあります。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開室日数	13	19	12	11	21	20	15	17	17	10	155
開室時間(分)	1845	2915	1780	1530	3166	2902	2400	2760	2808	1860	23966
中学生(人)	410	151	105	179	241	300	151	105	75	38	1755
高校生(人)	140	469	95	95	177	162	76	118	219	72	1623
教職員(人)	18	23	12	6	21	2	4	5	5	5	101
見学者(人)	4	0			20	5	4			2	35
	2430	3577	2004	1821	3646	3391	2650	3005	3124	1987	27635

2020年度ラーニングコモンズ月別来館者数

長期休暇中の利用（ ）内は前年度

開館日数：23日（34日）コロナのため通常より約10日短縮されました。

入館者：中学生 457人 高校生 198人 教職員 103人 見学 27人

総入館者数：785人（1,260人）

利用：貸出 564冊（753冊） 返却 606冊（649冊）

1日あたりの入館者：34人（37人）

1日あたりの貸出数：25冊（25冊）

1日あたりの返却数：26冊（19冊）

リブラリア Twitter 統計 (6年目)

今年も「アナリティクス」というサービスで、ツイート数と話題になったツイートを分析しました。コロナ禍で生徒に対するアプローチが思うようにいかない日々が続く中、Twitter は重要な情報発信ツールとして機能しました。在宅勤務中にも、司書の仕事、自宅で読んでいる本、開館日程、ライブ配信の報告などをツイートし続けました。休校明けには生徒から「あのツイート、家でみてたで〜」との声。休校期間中に学校に来れない生徒にとって、先生たちが働く様子や、お勧めの本の情報をオンラインで得られることは、学校と繋がる大切な機会だったようです。

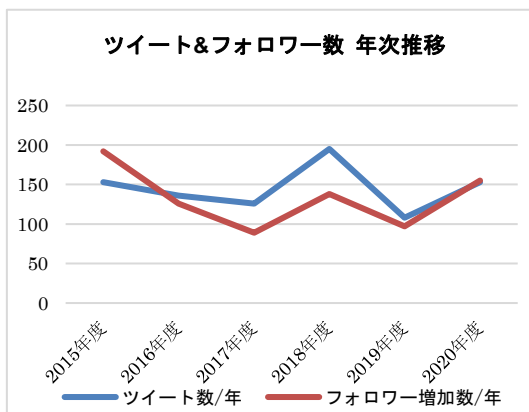
本年度のツイートは全回 153 回(昨年度 108 回)。オンライン学習期間中からマメなツイートを心がけ、前年を大きく上回りました。同時に新規フォロワー数も 155 名と大きく伸ばしています。SNS は投稿し話題になれば、人々の目に触れる機会が大幅に増えるツールです。そのため、投稿ネタもさきながら、投稿する頻度がやはり重要。次年度以降もマメなツイートが優先事項です。

探究学習の高まりを受けて、中学総合や旧探究科に関連するツイートは相変わらず注目されています。2019 年度にスタッフが行った、私学教育研究所委託研究事業『自由なテーマ設定による探究学習が、学習者のキャリアデザインに与える長期的影響の調査』に関するツイートは、これまでにのべ 13046 回も参照されました。このツイートの波及効果により、学園 HP にアップロードした研究レポート(PDF)に関する感想を受け取ることもしばしばあります。

また、図書館の日常を切り取った何気ないツイートも人気。Twitter への投稿をきっかけに、原稿執筆依頼・講演依頼が来ることもあり、学外にアピールする強力な材料になっています。



	ツイート数累計	ツイート数/年	ツイート数/日	総フォロワー数	フォロワー増加数/年
2015 年度	153	153	0.4	192	192
2016 年度	289	136	0.4	318	126
2017 年度	425	126	0.3	407	89
2018 年度	620	195	0.5	545	138
2019 年度	728	108	0.3	642	97
2020 年度	881	153	0.4	797	155



V 2020年度の記録

コロナ禍で始まった他府県との「ほんトーク」

学校行事が中止かリモート開催になり、ビブリオバトル大会も中止が決定。そのようなコロナ禍で他校とオンラインで読書交流会がしたいと言う生徒の声から始まったのが「ほんトーク」です。7月に清教学園&関西学院千里国際の中学生、高校生生の有志が集まってスタート。テーマは「読み返したい本」。その後高校生編、中学生編に分かれて読書会をする流れが生まれました。

高校生は清教学園&関西学院千里国際&青翔開智の3校で「衝撃的だった本」(10月)、「読み返したくなる本」(12月)、「おすすめの本」(1月)、津和野高校も加わって「おすすめしたいもの」(3月)、計4回のオンライン読書交流会を実施しました。また、中学生は清教学園&関西学院千里国際&青翔開智&広島叡智学園の4校で、「みんなにおすすめしたい本」(1月)、「湊かなえさんのおすすめ本」(3月)の2回を開催しました。



「ほんトーク」は『朝日中高生新聞』(2月14日)に特集が掲載されました。

第22回図書館総合展 ONLINE 来場者投票賞受賞

2020年11月に開催された業界イベント「第22回_図書館総合展 ONLINE」にて、図書館リブラリアの企画が「来場者投票賞2位」を受賞しました。本企画では、リブラリアの実践と生徒の様子を、広く全国に公開することを目指し、「中3卒業論文の授業公開」「有志生徒による図書館案内とトークライブ」「探究学習に関する教職員向け懇談会」などを配信しました。全国から教育関係者や図書館関係者が集まり、ライブ配信を視聴した人々は延べ228組にも上りました。参加者の中には、学年の生徒・教職員みんなで、授業中に本校の授業の映像をみたという学校もありました。生徒自身が研究テーマを決めて、図書館を使って論文を書くという、リブラリアの取組みに対する注目度の高さが伺えます。

ライブ配信中には視聴者から質問やコメントがたくさん寄せられました。研究内容に関する質問や、普段の図書館利用などについて、生徒がリアルタイムで、一生懸命に答えてくれました。「あまりに楽しくて、たくさん質問やコメントしてしまいました。先生も生徒も生き生きとされていて、嬉しくなりました」(大学関係者)、「論文を書く中学3年生が画面越しに存在している様子を見せられて、本校の生徒たちにとって良い刺激になりました」(中学教員)、「生徒さんの学校図書館案内はとてもさわやかでした。学校司書と変わらないぐらいよく理解されておられました。数時間経った今も心地の良い気持ちです」(図書館関係者)、などのコメントが114件寄せられました。



宗教部・リブラリア共催「クリスマス会」実施

たくさんの行事が見送られていく中、開催が危ぶまれた宗教部・リブラリア共催のクリスマス会でしたが、感染対策をしながら、例年以上の規模で実施することができました。

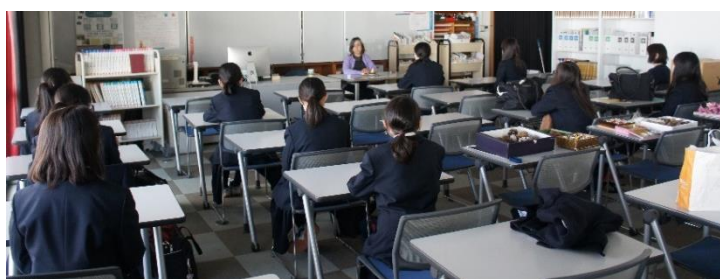
第1部の 先生のお話とコンサートは、密を避けるためチャペルで実施。会場の大きさに比例

して設備や機材も本格化し、事前予約制で、生徒・教職員合わせて80名以上が参加しました。出演の先生方も連日の練習が実り、大盛況のうちに終演となりました。おみやげに、高3生デザインのリブラリア特製ブックカバーのプレゼントも。生徒からは次回開催を望むメッセージが多数寄せられました。

第2部のおはなしとものづくりは例年通り総合学習室で実施。10名が参加し、和やかな雰囲気の中、上河先生のおはなし「三つのねがい」を楽しみ、リースづくりに取り組みました。



チャペルコンサート(左)とブックカバーとそのデザイナー



学級文庫「すくどの本」、高校へ

中学校での「すくどの本」の運用が安定してきたため、高校の学級文庫も希望制で図書館が請け負うサービスを始めました。初年度は高3学年2クラスで実施。先生の要望に応じて各教室に20冊ずつ本を準備し、2クラスをテストごとに巡回しました。

動画で卒業論文発表会

例年、口頭でのポスターセッションの形で実施してきた中学の卒業論文発表会は、動画収録・配信という形式で行うことができました。完成した卒業論文をもとに、スライド資料を作成。8分程度の発表映像にまとめて、全学年に公開しました。「発表者は自身に興味を持って取り組んだ研究成果を公開し、参観者は自分が興味を持った研究発表を参観する。生徒どうしの興味が出会い、あらたな研究に繋がる」という例年の形式を踏襲しました。

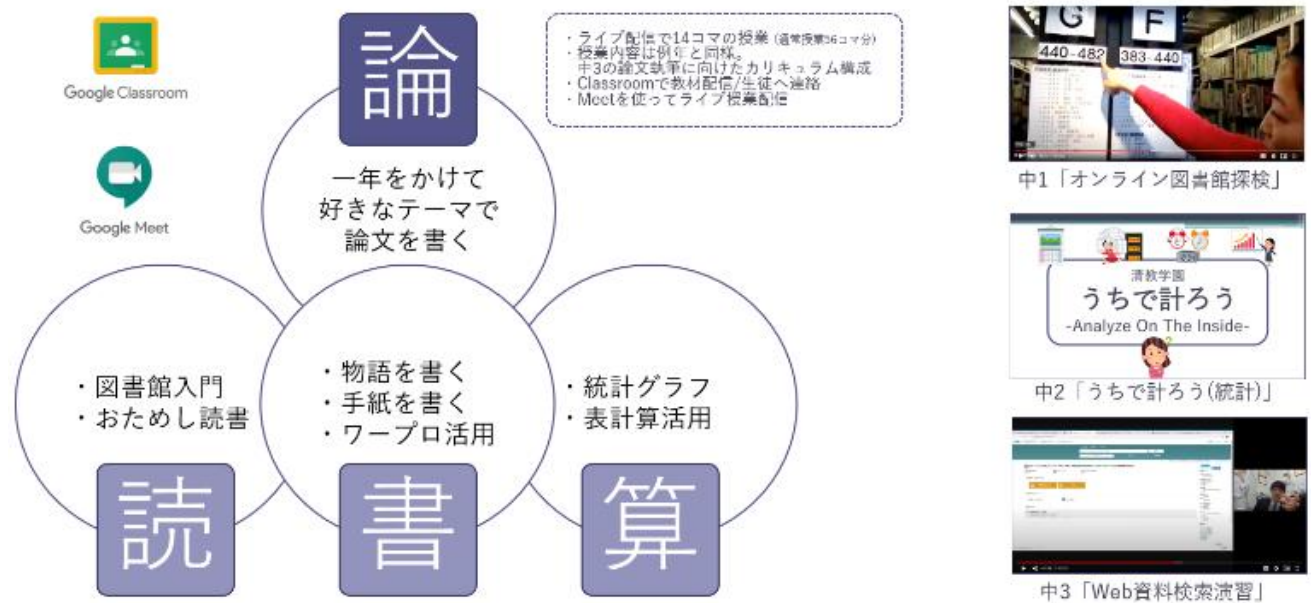
今回は参観者が発表者に対して、アンケートフォームから質問・コメントを送ることができるようにしました。中3の参観者からは、お互いに厳しい研究を潜り抜けた者どうしということもあり、手厳しいコメントでお互いに切磋琢磨する様子もみられました。



コロナ禍と総合学習:オンライン学習期間中の授業

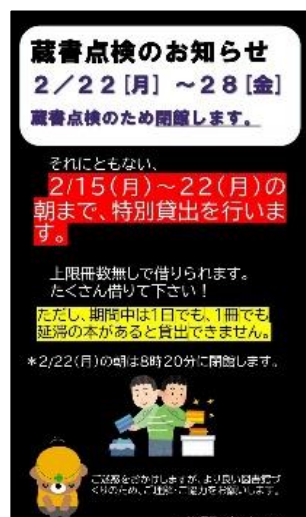
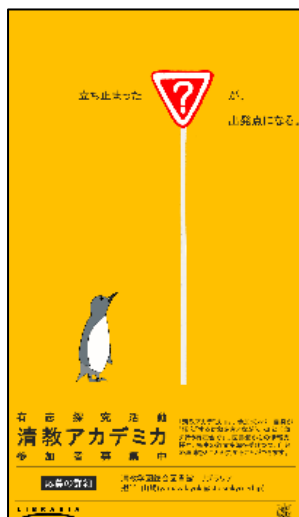
図書館が担当する「中学総合学習」は、中1から中3まで、各学年とも全クラス合同のライブ配信授業を実施しました。オンライン学習期間中には3学年で合計14コマの授業を行うことができました。

教員がライブカメラで図書館の様子を紹介する「オンライン図書館探検」(中1)や、家の中の様々なモノを数える統計分析「うちで計ろう」(中2)、卒業論文執筆のために、良質なWeb資料を検索する演習(中3)など、通常授業時の内容をオンライン授業にも落とし込みました。全ての授業をリアルタイムで実施することで、生徒と教員双方向のやりとりを目指しました。



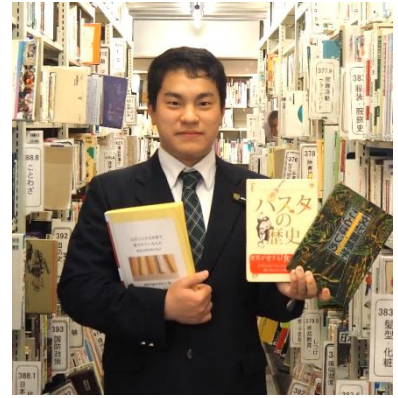
デジタルサイネージの導入

図書館の出入口に1台ずつ、計2台のデジタルサイネージを設置。文字・映像情報を平面ディスプレイに表示できます。月毎のお便りや新着図書案内ではお知らせできない、タイムリーな情報発信が可能になりました。図書館からのお知らせやイベントの告知、新着図書・話題の本の紹介、また図書委員や有志のお勧めの本を紹介する場として利用しています。また動画にも対応しているため、オンライン・トークライブ(p.2)のダイジェスト版を流すこともできました。生徒も職員もつい足を止めて眺めてしまう、図書館の広告塔として機能しています。



図書館での学びを通じた、生徒の進路開拓

有志参加による探究活動「清教アカデミカ」参加生から、今年も進路開拓の報告です。高校 51 期 さんが、立命館大学食マネジメント学部に入試合格を果たしました。中学在籍時に研究論文『なぜパスタは世界で愛されているのか-秘訣は保存性のよさ-』を提出した喜田さんは、食文化の面白さと、研究活動の楽しさに魅せられ、高校入学後も自主的に研究活動を続けてきました。それら学びのプロセスと成果が、入学試験で認められました。とりわけ、中学 3 年次にフィールドワーク取材で出会った文化人類学者、石毛直道先生との出会いが、喜田さんの進路選択・開拓に大きく影響を与えたようです。



他にも、小論文入試に向けた資料リファレンス、司書による小論文指導など、図書館での学びを通じた生徒の進路開拓が実った年でした。生徒の興味や関心により蔵書構成と、司書の丁寧な資料支援・論文指導が、直接的にも間接的にも、生徒の進路開拓に繋がっていたようです。

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第 24 回図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催：公益財団法人 図書館振興財団

優良賞 最終審査対象作品 調べる学習部門 高校生の部

『災害時に一人でも多くの人を救うには-新型コロナウイルス感染症から学ぶ救急医療-』 さん (高 2C)

坪井さんは中学時代にも「DMAT(災害時医療派遣チーム)」に関する研究論文に取り組み、同コンクールにて奨励賞を受賞。高校進級以降も、医療政策について継続して研究を続けてきました。今回の研究は、コロナ禍での病院経営と医療体制の関係を問う、現在進行形の難しいテーマでしたが、病院への取材等も織り交ぜてなんとか研究を形にしました。



奨励賞 調べる学習部門 高校生の部

『「妖怪」がなぜ人々の興味の対象となってきたのか-時代と文化の変化に合わせた妖怪の変化(へんげ)-』 さん (高 1D)

中学卒業時に提出された卒業論文を、高校進級後にもさらにブラッシュアップし、今年度コンクールの「高校生の部」に応募しました。人間がなぜ「妖怪」なるものを想像し生み出したのか。その発生の起源と、現代における妖怪ブームの関連を検討しました。妖怪研究・文化人類学の大家、小松和彦氏に取材をしています。



優良賞 調べる学習部門 中学生の部

『阪神タイガースの人気はどのようにして保たれているのか-ファン層に合わせたグッズ、イベントを考え実行することでニーズを保つ-』 さん (高 1C)

中学卒業時に提出された卒業論文を、今年度コンクールの「中学生の部」に応募しました。阪神タイガースのファン獲得について、球団・チーム・親会社・スポンサーの組織関係を明らかにしつつ、親会社である阪神電気鉄道株式会社のスポーツ・エンタテインメント事業本部に取材調査しました。

「図書館だより」(テーマの本を集めて展示し、図書館だよりをクラス配布)

発行月	テーマ	担当
2020年5月	第69期卒業論文／新生活応援します！	山崎／上河
8月	すごく短いおはなしの本と、短くてこわい本	南
9月	「さし絵」が素敵な本集めてみました！	山根
10月	「好き」過ぎる人々	上河
11月	中学1年生総合学習作品展示／「悪魔の辞典」&ショートショート	南／山崎
12月	自分の気持ちを書いてみる エッセイ本	南
2021年3月	「ほんトーク」(学校間オンライン交流会)で紹介された本	山根

その他の特集展示・掲示

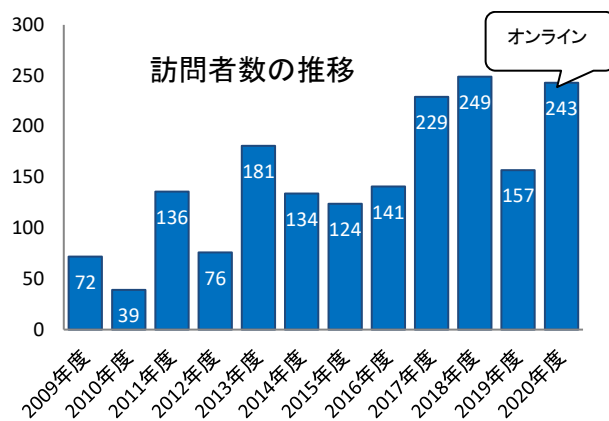
時期	テーマ	備考
2020年4月～	トークライブ「図書館職員・先生が本について語る」での紹介本	動画配信後、コーナー設置
5月～	教えてください〇〇先生(MC 先生)～先生、どんな本読んでますか？～	オンデマンド配信後、紹介本を展示
8月	岩波少年文庫 挿絵の世界	
9月～	図書委員 POP 作品及びおすすめ本展示	4回／年
10月～	たまには読もうよ 絵本でも	不定期で更新。全15冊を紹介展示。
10・11月	日本絵本大賞のPOPを書こう展	
11月～	有志 POP 作品展示	不定期
12月	図書館マスコット「リブちゃんはどこ？」	図書館に隠れているマスコットを探す(写真展示)。
2021年1月	追悼 安野光雅さん 絵本・本の展示	

行事

2020年4月	トークライブ(オンライン配信) [司書] に取材
4月	トークライブ(オンライン配信) / 「恋愛」をテーマに先生&図書館職員が本を紹介
5月	学外からの蔵書検索・予約稼働(カーリル学校図書館支援プログラム)
5月	トークライブ(オンライン配信) / 「読み返したくなる本」を先生&図書館職員が紹介①、②
6月	第1回リブラリアクイズ(参加29名)
7月	第2回リブラリアクイズ(参加10名)
8月	トークライブ(オンライン配信) / 図書館司書が「本以外の何か」を紹介する
9月	図書委員「図書館だより」発行
10月	第3回リブラリアクイズ(参加者5名) / デジタルサイネージ(デジタル看板)稼働
11月	オンライン図書館総合展参加(中3総合の授業、放課後の図書館の様子を中継、図書館関係者とオンライン交流会)
12月	3校参加オンライン「ほんトーク」(関西学院千里国際、青翔開智、清教学園) 高校編 / 宗教部・リブラリア共催クリスマス会 教師によるコンサート、リース作り、ストーリーテリング(参加者72名)
2021年1月	・4校参加オンライン「ほんトーク」(関西学院千里国際、青翔開智、広島叡智学園、清教学園) 高校生編テーマ「おすすめしたい本」 / ・4校参加オンライン「ほんトーク」(関西学院千里国際、青翔開智、広島叡智学園、清教学園) 中学生編テーマ「みんなにおすすめしたい本」
2月	第4回リブラリアクイズ(参加者17名) / 蔵書点検及び本移動・除籍本の検討と譲渡
3月	・総合学習研究発表会 動画作成、限定オンデマンド配信 ・4校参加オンライン「ほんトーク」(関西学院千里国際、青翔開智、広島叡智学園、清教学園) 高校生編テーマ「春休みに読みたい本」 ・4校参加オンライン「ほんトーク」(関西学院千里国際、青翔開智、広島叡智学園、清教学園) 中学生編テーマ「湊かなえさんの本」

訪問者（敬称略）

2020年度の学園への訪問者は23件39名でした。コロナ禍で直接学園へ来ていただくことは困難な状況でしたが、図書館総合展でのオンラインでの図書館見学、授業公開には総勢204名の方にご参加いただきました。



	日付	人数	所属	代表者氏名	訪問目的
1	6月25日	1	図書館流通センター		総合展打合せ
2	7月02日	2	滝川第二高等学校・中学校		図書館見学
3	7月02日	2	奈良県王寺町教育委員会		図書館見学
4	7月02日	5	ICT 関連業者		図書館見学
5	8月01日	1	生駒市立桜ヶ丘小学校		図書館見学
6	8月26日	2	守口市教育委員会・市立第一中学校		図書館見学
7	9月02日	2	国際エデュテイメント協会		図書館見学
8	9月04日	2	堺市立中央図書館		図書館見学、打合せ
9	9月15日	3	大阪府子ども文庫連絡会		図書館見学
10	10月16日	1	リクルートキャリア		学校見学
11	10月30日	1	山口県立下関中等教育学校		図書館見学、探究学習視察
12	11月17日	1	関西大学文学部教育文化専修		図書館見学、探究学習見学
13	11月20日	2	加古川東高等学校		図書館見学、探究学習視察
14	12月17日	1	石津教会		図書館見学、資料調査
15	12月22日	1	図書館流通センター		蔵書システム更新案内
16	1月21日	2	東洋経済新報社		図書館見学、探究学習視察
17		1	東洋経済ライター		図書館見学、探究学習視察
18	1月22日	1	コアネット教育総合研究所		学校見学
19	2月17日	1	広島三育学院中学校高等学校		図書館見学、探究学習視察
20		1	コアネット教育総合研究所		図書館見学、探究学習視察
21	3月03日	1	東福岡高等学校		図書館見学、探究学習視察
22	3月03日	4	大阪大学大学院人間科学研究科		図書館見学、探究学習視察
23	3月18日	2	富田林市立喜志小学校		図書館見学、探究学習視察

オンライン図書館総合展予約者（敬称略）

高校生トークライブ&図書館交流・懇談会（11月5日80件）

	氏名	所属名	職種		氏名	所属名	職種
1		個人	大学図書館	41		福岡県立太宰府高等学校	学校図書館
2		個人	無し	42		関西大学中等部・高等部ライブラリー	学校図書館
3		関西創価中学校・高等学校	学校図書館	43		相愛大学	大学
4		図書館員	公共図書館	44		個人	YA 興味
5		カーリル	企業	45		長浜市	学校図書館
6		神奈川県 相模原市立旭中学校	学校図書館	46		個人	大学図書館
7		菊池市立図書館	公共図書館	47		日本大学歯学部	大学図書館
8		ドルトン東京学園	学校図書館	48		個人	八洲学園大学学生
9		個人	専門図書館	49		個人(卒業生)	個人参加
10		かつらぎ町立笠田小学校	学校図書館	50		同志社大学	大学図書館
11		大阪体育大学浪商中・高等学校図書室	学校図書館	51		飛騨市図書館	公共図書館
12		湘南白百合学園中学・高等学校	学校図書館	52		個人	学校図書館
13		個人	相愛大学学生	53		福岡市東図書館	公共図書館
14		筑波大学附属駒場中・高等学校	学校図書館	54		個人	司書希望学生
15		横浜市学校司書	学校図書館	55		津山市立図書館	公共図書館
16		シェア本屋せんばく Bookbase 店長	独立系本屋	56		宮城県松山高等学校	学校図書館

17		ドルトン東京学園中等部・高等部	学校図書館
18		元 私立中高等学校図書館勤務	個人
19		個人	個人
20		熊本県立第一高等学校	学校図書館
21		神奈川県立岸根高校(個人)	学校図書館
22		東京農業大学	大学図書館
23		岸和田市立桜台中学校	学校図書館
24		関西学院千里国際キャンパス図書館	学校図書館
25		日本コンベンションサービス株式会社	公共図書館
26		沖縄県立八重山農林高校	学校図書館
27		個人	学校図書館
28		宮城県仙台三枝高等学校	学校図書館
29		熊取町立熊取図書館	公共図書館
30		新発田高等学校	学校図書館
31		神田女学園中学校高等学校	学校図書館
32		学校図書館を考える会・静岡	市民団体
33		東海大学付属大阪仰星高等学校	学校図書館
34		中井町生涯学習課	学校・公共兼務
35		個人	学校図書館
36		岩波書店	企業
37		恵泉女学園中学・高等学校	学校図書館
38		個人	学校図書館
39		練馬区立大泉図書館	公共図書館
40		個人	大学

57		中学校図書館	学校図書館
58		関西学院千里国際 図書館	学校図書館
59		関西学院千里国際キャンパス図書館	学校図書館
60		大阪府立堺西高等学校	学校図書館
61		個人	大学図書館
62		個人	個人
63		早稲田大学図書館	大学図書館
64		青山学院大学	大学
65		明星中学校・高等学校	学校図書館
66		柏崎市立図書館	公共図書館
67		明治学園中高図書館	学校図書館
68		奈良県御所市立大正中学校	学校図書館
69		千里国際キャンパス図書館	学校図書館
70		学生・国際基督教大学	大学
71		奈良県立図書情報館	公共図書館
72		個人(卒業生)	奈良県立大学学生
73		個人	学生
74		私立大阪学院大学高等学校	学校図書館
75		あべの翔学高等学校	学校図書館
76		鹿児島県立加世田常潤高等学校	学校図書館
77		埼玉県立狭山清陵高校	学校図書館
78		鹿児島県立鹿屋農業高等学校	学校図書館
79		個人	学校図書館

中3 総合の授業公開&図書館案内&交流会 (11月12日 123件)

	氏名	所属	職種
1		カーリル	企業
2		大阪経済法科大学	大学図書館
3		久留米大学	大学司書課程
4		生きた学校図書館をめざす会川崎	市民団体
5		多摩大学目黒中学校高等学校	学校図書館
6		個人	学校図書館
7		神奈川県 相模原市立旭中学校	学校図書館
8		名古屋経済大学	大学図書館
9		宮城県仙台台向山高等学校	学校図書館
10		新潟県立新潟南高等学校	学校図書館
11		ドルトン東京学園	学校図書館
12		国際医療福祉大学	大学図書館
13		愛知淑徳中学高等学校	学校図書館
14		個人	専門図書館
15		かつらぎ町立笠田小学校	学校図書館
16		立川女子高等学校	学校図書館
17		弓削商船高等専門学校	大学図書館
18		大阪体育大学浪商中・高等学校	学校図書館
19		新潟県立新潟高等学校	学校図書館
20		青翔開智中学校・高等学校	学校図書館
21		帝京平成大学	大学図書館
22		小田原市立城北中学校	学校図書館
23		亀岡高校	高校
24		筑波大学附属駒場中・高等学校	学校図書館
25		公立中学校	学校図書館
26		横浜市立中学校図書館	学校図書館
27		関西大学中等部・高等部ライブラリー	学校図書館
28		ドルトン東京学園中等部・高等部	学校図書館
29		個人	元図書館職員
30		熊本県立第一高等学校	学校図書館
31		白百合女子大学非常勤講師	大学(司書課程)
32		飯田市立竜東中学校	学校図書館
33		筑波大学大学院	大学
34		国立国会図書館関西館	国立図書館
35		福岡工業大学附属城東高等学校	学校図書館
36		沖縄県	学校図書館
37		筑波大学附属小学校	学校図書館
38		玉川大学	大学図書館
39		埼玉大学教育学部附属中学校	学校図書館
40		秋田市医師会立秋田看護学校図書室	専門図書館
41		宮城県古川黎明高等学校	学校図書館
42		関西大学北陽高等学校・中学校 図書室	学校図書館
43		学校図書館を考える全国連絡会	市民団体

	氏名	所属	職種
63		恵泉女学園中学・高等学校	学校図書館
64		個人	学校図書館
65		個人	大学
66		自修館中等教育学校	学校図書館
67		緋ガイアブックス	企業
68		個人	個人
69		山口県立下関中等教育学校	中等教育学校
70		札幌市立厚別中学校	学校図書館
71		鳥根県立大学人間文化学部地域文化学科	司書課程(教員)
72		個人	YAに興味
73		東洋英和女学院中学部高等部	学校図書館
74		都留文科大学	大学 文学部
75		小林聖心女子学院学習センター	学校図書館
76		樟蔭中学校・高等学校	学校図書館
77		学校図書館を考える全国連絡会他	市民団体
78		都立南多摩中等教育学校	学校図書館
79		西大和学園中学校高等学校	学校図書館
80		宮崎県立図書館	公共図書館
81		個人	大学(学生)
82		西宮市立塩瀬中学校	学校図書館
83		同志社大学	大学図書館
84		練馬区立貫井図書館	公共図書館
85		都立町田総合高等学校	学校図書館
86		京都府立福知山高等学校	学校図書館
87		大阪府子ども文庫連絡会	ボランティア
88		紀伊國屋書店	企業
89		人間環境大学附属図書館	大学図書館
90		大阪信愛学院図書館	学校図書館
91		北九州市立大学	大学図書館
92		関西学院千里国際 図書館	学校図書館
93		個人	公共図書館
94		慶應義塾大学	大学図書館
95		相模原市立小山中学校	学校図書館
96		個人	学校図書館
97		関西学院千里国際中高	学校図書館
98		早稲田大学図書館	大学図書館
99		個人	個人
100		青山学院大学	大学
101		個人	個人
102		常磐大学	大学図書館
103		学校図書館・虹の会・所沢	学校図書館
104		明治学園中高図書館	学校図書館
105		御所市立大正中学校	学校図書館

44	キハラ株式会社	企業
45	学校図書館を考える会・丸亀	有志
46	城西大学水田記念図書館	大学図書館
47	個人	学校図書館
48	九州女子大学	大学
49	龍谷高校図書館	学校図書館
50	京都府立亀岡高等学校	学校図書館
51	宮城県仙台三枝高等学校	学校図書館
52	熊取町立熊取図書館	公共図書館
53	健和看護学院	専門学校図書室
54	四天王寺高等学校	学校図書館
55	学校図書館を考える会・静岡	市民団体
56	東海大学付属大阪仰星高等学校	学校図書館
57	洛星中学高等学校	学校図書館
58	個人	学校図書館
59	愛知淑徳中高図書館	学校図書館
60	返子開成中学校・高等学校	学校図書館
61	小林聖心女子学院	学校図書館
62	岩波書店	企業

106	個人	個人
107	国際基督教大学(学生)	大学
108	安田女子中学高等学校図書館	学校図書館
109	学校図書館を考える全国連絡会	学校図書館
110	沖縄女子短期大学	大学図書館
111	九産大、司書講座受講	専門図書館
112	カリタス女子中学高等学校	学校図書館
113	岸和田市教育委員会	学校図書館
114	埼玉県立大宮高校	学校図書館
115	東京純心女子高等学校	学校図書館
116	ポプラ社	企業
117	個人	学校図書館
118	広島女学院中学高等学校	学校図書館
119	鹿児島県立加世田常潤高等学校	学校図書館
120	埼玉県立浦和第一女子高校図書館	学校図書館
121	個人	大学図書館
122	大阪信愛学院中学校高等学校	中学校・高等学校
123	香蘭女学校	学校図書館

コロナ禍で中止せざるを得なかった企画

高1野球部「本を繋げるプロジェクト」、有志参加「ビブリオバトル2020」、清教学園幼稚園「リブリア探検」、地域の小学生向け「夏休み調べ学習教室」、司書による「ちいさいおはなし会」は、コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止しました。

研修等参加記録（〔 〕内は研修者）

- ・6月28日（日）「2019年に出版された子どもの本」動画配信遠隔講座〔上河〕
- ・8月3日（月）公立図書館と学校のオンライン合同研修1「探究型学習と図書館」〔上河〕
- ・8月10日（月）公立図書館と学校のオンライン合同研修2「校内居場所カフェによる寄り添い型支援」〔上河〕
- ・10月20日（火）大阪私立中学校・高等学校図書館研究会（私学研究会）主催オンライン研修会「学校図書館とプライバシー」〔山根〕
- ・11月6日（金）第16回レファ協主催オンライン研修会〔山根〕
- ・11月9日（月）児童文学連続講座オンライン研修「21世紀のヤングアダルト文学」〔上河〕「ヤングアダルト書籍としてのライトノベル」〔上河〕
- ・11月10日（火）児童文学連続講座オンライン研修「現代日本児童文学と「ヤングアダルト文学」」〔上河〕「英語圏のヤングアダルト文学と図書館活動」〔上河〕
- ・11月21日（土）青翔開智中学校・高等学校 オンライン見学会・情報交換会〔山根〕
- ・11月25日（水）第2回大阪府図書館司書オンラインセミナー「人・情報・空間」のつなげ方～「信州・学び創造ラボ」の実践について～〔山根〕
- ・12月2日（水）公立図書館と学校とのオンライン合同研修「探究型学習と図書館」〔山根〕「校内居場所カフェによる寄り添い型支援」〔山根〕「ミニ新刊紹介」〔山根〕
- ・12月4日（金）レファ協担当者オンライン研修会〔山根〕
- ・12月15日（水）第4回大阪府図書館司書オンラインセミナー「読んで、聞いて、書いて、気づく。「POPコピー」」〔山根〕
- ・12月19日（土）「アメリカ学校図書館員協会（AASL）の新基準を読む」オンライン研修〔上河〕
- ・2月12日（金）レファ協担当者オンライン研修会〔山根〕
- ・2月13日（土）第22回東京大学教育学部附属学校オンライン公開研究会「半径2km研究」「オリ・パラを知ろう」「探究（課題追求）」〔山根〕

雑誌・新聞記事・寄稿・WEB記事等（〔 〕内は執筆者）

- ・2020年8月1日 全国学校図書館協議会（SLA）『ぶらすあるふぁ（中・高校生版）としょかん通信8月号付録』「オンラインでも資料と利用者を図書館がつなぐ」〔山崎〕
- ・2020年9月1日 学校図書館問題研究会『学図研ニュース』2020年9月号（第415号）特集：イマドキのネット発信活用術「発信しないともったいない！-情報を収集する図書館から、情報を発信する図書館へ-」〔山崎〕
- ・2020年11月 前田由紀子「書きだしたら楽しくなってきた」（『中高生からの論文入門』書評）高見京子編著『青春の本棚：中高生に寄り添うブックガイド』全国SLA
- ・2020年12月片岡則夫「書評：根本彰『教育改革のための学校図書館』」『日本図書館情報学会誌』Vol. 66, No.4, Dec. 2020
- ・2020年11月1日 全国学校図書館協議会（SLA）『学校図書館』2020年11月号（第841号）特集：これからの学校図書館-コロナ禍の学校図書館とICT-「学校図書館、ライブ配信ははじめました：ICTを活用した『トークライブ』で、利用者と資料をつなぎ、人と人をつなぐ」〔山崎〕
- ・2021年2月12日 文部科学省の令和元年度委託事業として「学校図書館事例集」を作成。清教学園リブラリアの運営が掲載
- ・2021年2月14日号 朝日中高生新聞に『高校編オンライン読書交流会』が掲載
- ・2021年2月12日 前田由紀子木村修平，近藤雪絵『英語でビブリオバトル実践集』
- ・2021年3月 佐藤浩章 編著『高校教員のための探究学習入門 問いから始める7つのステップ』ナカニシヤ出版 清教学園社会科 中西先生の探究型学習と、図書館の取組みに関するインタビュー記事が掲載
- ・2021年3月 『海外子女教育』「特集：学校図書館の魅力」にてリブラリア紹介される。公益財団法人 海外子女教育振興財団機関誌（月刊）2021年4月号



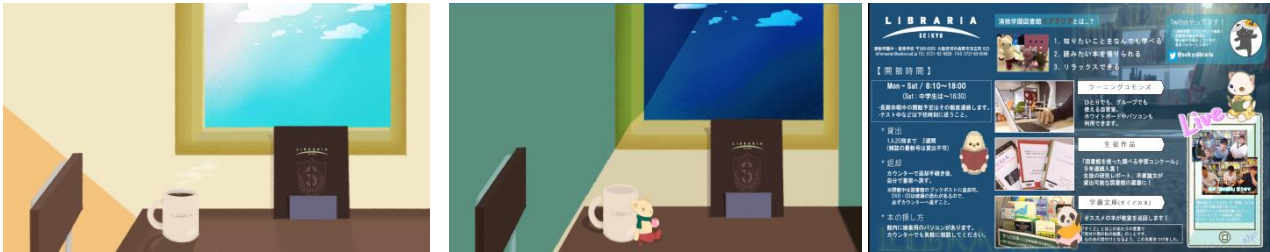
外部講師・学会発表等（開催日・主催者「講座テーマ」会場、参加数〔担当〕）

- ・6月23日（火）高石市立図書館スタッフ研修「『ミニ調べる学習』体験講座：学びたいことを学ぶのは、大変だけど楽しい」高石市立図書館、20名〔片岡〕
- ・7月7日（火）島根県浜田市教育委員会「調べる学習ワールドカフェ：立場をこえて考える支援のあり方」浜田市立中央図書館、48名〔片岡〕
- ・8月7日（金）「トライ！ 生駒子ども読書会議」「『おためし読書』の講演とワークショップ」奈良県生駒市の北コミュニティセンター「ISTA はばたき」60名〔片岡〕
- ・8月20日（木）滋賀県立国際情報高等学校教師研修会「中高生が卒論を書く：探究的な学びをどう支援するか」滋賀県立国際情報高等学校 40名〔片岡〕
- ・9月20日（日）図書館総合展 図書館振興財団フォーラム「楽しんで考える！ほんとうの調べる学習：子どもの五感と興味を信じて」YouTubeで限定公開〔片岡〕
- ・10月13日（火）大阪府子ども文庫連絡会「探究学習と学校図書館：子どもの個性の多様性を生かす」大阪市立中央図書館（辰巳商会中央図書館）100名〔片岡〕
- ・11月4日（水）図書館総合展「楽しんで考える！ほんとうの調べる学習～子どもの五感と興味を信じて～」蔵元先生へのインタビューフルバージョン放映 YouTubeで公開〔片岡〕
- ・11月4日（水）図書館総合展「調べる学習なんでも質問箱LIVE」YouTubeで公開〔片岡〕
- ・11月27日（金）滋賀県高等学校学校図書館研究部会研修「なんでも学べる学校図書館：自由な調べる学習が多様性を生かす」津市立会館市民文化会館、60名〔片岡〕
- ・11月30日（月）守口市第一中学校学校公開「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」「学校図書館を使った効果的な調べる学習：情報力は楽しく学んだ後についてくる」守口市第一中学校 40名〔片岡〕
- ・12月13日（日）「堺っ子読書フォーラム」（堺市子ども読書活動推進会議）「おためし読書実践法：『読書回転寿司』的出会いの場」堺市役所、31名〔片岡〕
- ・1月～2月16日 令和2年度大阪府図書館司書セミナー「YA世代向け選書について」（YouTube 大阪府立図書館公式チャンネルにて限定公開）申し込み 319名、再生回数 948回〔南〕

- ・3月23日（火）町田市生涯学習センター探・探ゼミナールいきいきシニアは学びにあり！
主体的な学びをとおして見つける生きがい 町田市生涯学習センター、64名[片岡]
- ・3月29日（月）TRCブックフェア 「『読書回転寿司』で探る小学校高学年～中学生をつかむ本」ミニ講座 15分×3本 YouTube 限定公開 [片岡]

出版・印刷物等

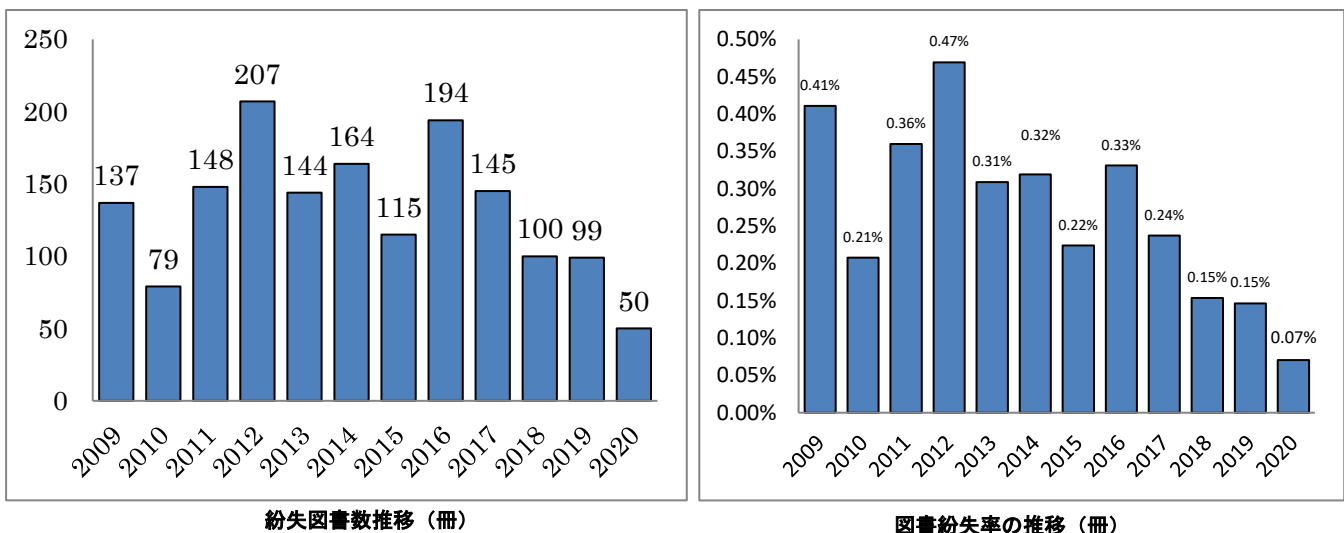
- ・2020年12月『ブックカバー兼リブラリア利用案内』リブラリアクリスマス会参加者のみに配布/デザイン：高校51期阪尾愛香さん（2種・コピー機で印刷）



VI 課題

紛失図書問題

紛失図書の総数が、本年度は50冊（昨年度は99冊）と半減し、2009年に統計を取り出してから最低の値となりました。図書紛失率も0.07%で最低を記録しました。数字自体は喜ばしいのですが、コロナウイルスの感染拡大のため図書館内での滞留を短時間に制限したり、開館日数が減少したりしたためによる、特殊なケースと考えられます。ちなみに2009年度からの紛失本の累計は1582冊であり、平均単価を1800円として被害総額約285万円となります。



十年來の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案

この課題については、トピックス (p. 1) と、付録「図書館リブラリア 書架増築計画 (案)」をご参照ください。

Ⅶ 図書館リブラリアの歩み 2020

年度	主なできごと
2002年（平成14年）	・現在地に図書館が移転。天井の高いホールを区切り、1階に図書館、2階に120席のスタディーホールが生まれる。同時に、それまで図書館であった教室が、総合学習室としてリニューアル。
2007年（平成19年）	・専任司書教諭着任、探究科創設・専任教諭着任 ・事業報告の刊行・統計資料の充実開始 ・総合学習等で年間約400時間の利用 ・図書廃棄基準を定め、1176冊を除籍
2008年（平成20年）	・蔵書管理に「ライブマックス」、書誌情報のために「Tooli-S」を導入 ・レファレンス資料用の低書架を増設、スタディーホールに書庫増設 ・レファレンス低書架を増設、文庫棚・ビデオ棚・傾斜棚を導入 ・生徒用検索端末2台を設置 ・貸出冊数を2冊から5冊に増加
2009年（平成21年）	・貸出冊数32278冊、2006年度と比較しておよそ10倍弱 ・年度当初のオリエーション開始 ・貸出冊数を5冊から10冊に増加 ・図書購入の見計らい開始 ・雑誌棚を新設、L型低書架スタディーホールに導入、総合学習室文具棚を改造 ・第13回「図書館を使った調べる学習賞コンクール」にて探究科論文が文部科学大臣奨励賞・活字文化推進会議賞を受賞
2010年（平成22年）	・大阪府下貸出冊数一位を記録 ・貸出冊数を10冊から20冊に増加 ・第14回「図書館を使った調べる学習賞コンクール」にて探究科論文が文部科学大臣賞・日本児童図書出版協会賞を受賞 ・「NRI学生小論文コンテスト2010」にて探究科論文が大賞受賞
2011年（平成23年）	・清教学園60周年記念事業「『探究的な学習』が賜物を生かす」開催 ・文部科学省「読書活動優秀実践校」表彰
2012年（平成24年）	・貸出冊数が増加、4万冊を突破 ・「がんばった学校支援事業」補助金交付 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞 ・読売新聞「教育ルネサンス」（全国版）掲載 ・中学新入生向けの「すくど文庫」はじまる
2013年（平成25年）	・文部科学省委託助成研究が終了 ・『なんでも学べる学校図書館をつくる』少年写真新聞社より出版 ・国際子ども図書館「調べものの部屋プロジェクト」への参加
2014年（平成26年）	・第44回「学校図書館賞」大賞を受賞 ・図書館振興財団の助成決定：デジタルアーカイブ化はじまる ・スタディーホールに書架を増設：収納量3000冊増 ・学級文庫「すくどの本」を中学各教室に設置：3000冊が読まれる
2015年（平成27年）	・第9回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞 ・生徒作品のデジタルアーカイブ化が実現 ・第17回図書館総合展にブース出展 ・国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加 ・ツイッターによる情報発信を開始
2016年（平成28年）	・ポスターセッションによる中学卒業研究発表会を開催 ・ラーニングコモンズ開室 ・「本をつなげるプロジェクト」はじまる ・リブラリア書架・総合的学習室ロッカーを各種賞金で増設 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」9年連続入賞 ・教育課程の変更により探究科終了
2017年（平成29年）	・リブラリア訪問者数累計1100名を突破 ・清教学園幼稚園生による「リブラリア探検」開始 ・『なんでも学べる学校図書館をつくる2』少年写真新聞社より出版 ・ラーニングコモンズ本格稼働 利用者約3000名 ・有志探究活動「清教アカデミカ」はじまる ・統計グラフコンクールに初入賞 ・朝の読書の時間「ちいさいおはなし会」はじまる
2018年（平成30年）	・訪問者新記録・累計1300名を突破 ・講談社現代新書『中学生からの論文入門』発刊 ・『探究科の記録2008～2016』まとまる ・中3卒業研究“論文形式”に進化 ・私学教育研究所委託研究決定
2019年（令和元年）	・新型コロナウイルスの影響甚大：3月休館・卒業論文発表会中止 ・私学教育研究所委託研究実施 ・小学生向け「夏休み調べ学習教室」初の開催
2020年（令和2年）	・10年来の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案 ・文部科学省の学校図書館事例集にWeb公開される ・コロナ禍とリブラリア：開館日数減少の中で工夫続く ①WebOPAC構築と予約サービス開始 ②トークライブ & 動画配信企画 ③全国の県立・私立の学校図書館との連携行事「ほんトーク」中学編、高校編開催

図書館リブラリア 書架増築計画（案）

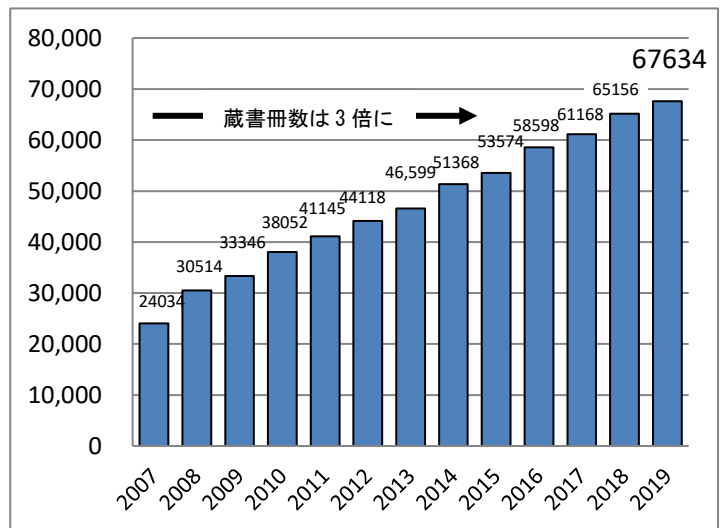
図書館リブラリアは、長らく配架スペースの不足に悩まされてきました。この状況を『総合図書館 清教学園リブラリア事業報告』によって2010年より報告してきましたが、依然として抜本的な解決には至っていません。これまでは、古くなった図書資料の廃棄や、館内の隙間スペースに書架を増築することによって、その場をしのぐ対応をしてきました。しかし、いよいよ廃棄できる本も限られ、書架を増築できるスペースもなくなり、次年度以降の新刊図書受入れが難しい状況に陥っています。新刊図書を受け入れるためには、図書館のフロア面積自体を増やすしかない状況です。

そこで本稿では、図書館スタッフが検討した、フロア面積を増やして書架を増築する3つの計画案を提示します。書架増築に向け、皆様のご判断の一助となれば幸いです。本校の図書館教育と探究学習活動をさらに充実させるためにも、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

計画案概要

2020年4月時点で、リブラリアの資料数は67,634点でした。統計を取り始めた12年前と比較して、フロア面積を変えずに蔵書数は約2.8倍になりました。リブラリアが建設された当初の蔵書収容率を、大きく越える資料数になっていることがわかります。

その皺寄せは様々な点に表れており、「蔵書スペースを確保するために天井近くにまで図書を配架した結果、背の低い生徒が本を手に入れられない・背表紙が見えない」「詰め詰めに収められており、返却された本を棚に入れることができない」「書架の間が狭く、利用者がすれ違うことができない」などの状況が発生しています。



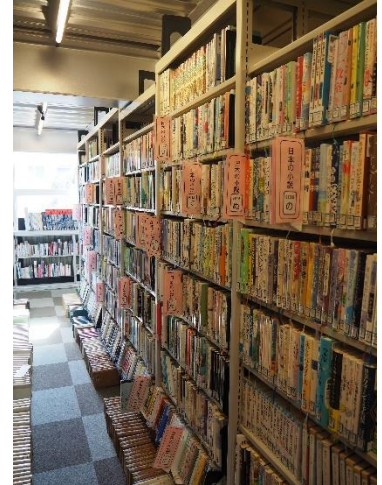
2007年から現在までのリブラリア蔵書冊数統計
床面積はそのまま、冊数は約3倍に増えた計算



新書は前後2段で配架。書架に入りきらない資料は平積み状態



背の高い資料は寝かせて配架。生徒論文などのタイトルが読めない



天井まで資料を配置。高い位置の資料を手にとれない・選べない

このような状況を鑑み、これまでに図書館スタッフ間で、以下3つの案が発案されました。

案① 総合学習室に書架を増築して図書館化、スタディホールを総合学習室とする

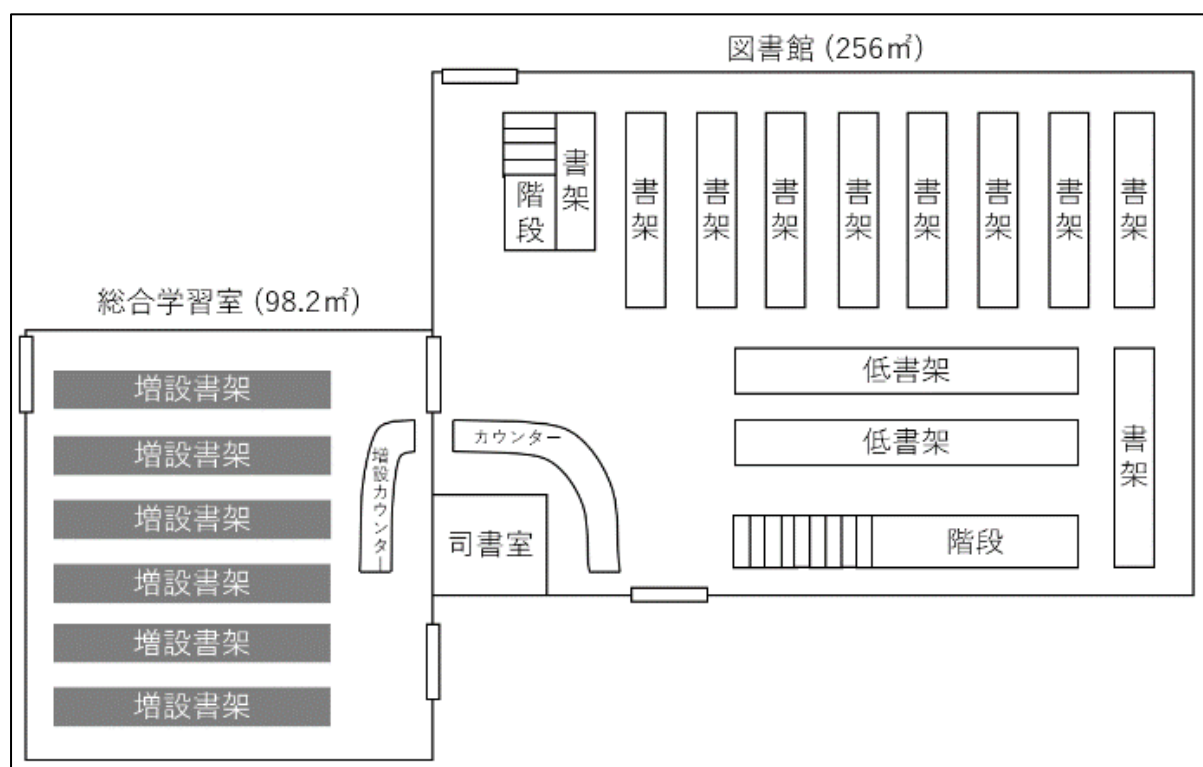
案② スタディホールの席数を50席に減らし、後方を書庫にする

案③ 高校の空き教室に図書館分室をつくる

上記3案のいずれか、もしくは全てを実現できれば、書架を大幅に増設することができ、現在抱えている配架スペースの問題を解消できます。次節以降では、それぞれの計画案の概要を示します。

案① 総合学習室に書架を増築して図書館化、スタディホールを総合学習室とする

最もフロア面積を確保できる案です。下図のように、総合学習室として利用している教室全面(約98.2㎡)に書架を増築します。



図書館1Fのフロア面積は約256㎡あり、現在はそのうちの100㎡(約4割)が書架で占められています(壁面書架・低書架を除く)。このため、総合学習室の全面に書架を増築することで、現在の2倍の蔵書を収蔵できるようになります。

この案の実現のためには、現在の総合学習室の機能をスタディホールに移管する必要があります。そこで、これまで総合学習室・スタディホールの2施設で担っていた教室需要を、スタディホールだけで担うことが可能なかを以下で検討します。

総合学習室とスタディホールの利用状況

2020年度に総合学習室を利用している教科は、中学総合学習と中学社会演習です。週あたり合計16コマの教室利用があります。一方で、2020年度にスタディホールを利用している教科は、中3英会話と高2キリスト教概論です。週あたり合計13コマの教室利用があります。このことから、スタディホールと総合学習室の教室利用は、週あたり29コマであることがわかります。

仮に、先に示した「現在の総合学習室に書架を増築し、スタディホールを総合学習室化する」案を採用した場合、週あたりの全コマ数は36コマ(平日7時間+土曜4時間で計算)ですから、スタディホールの教室利用コマ数は、週あたり29/36コマ(稼働率80.5%)となります。総合学習室の機能がスタディホールに移管した場合、現状のままでは、スタディホールの需要にゆとりが無くなるといえます。

しかし総合学習室・スタディホールを利用する教科・科目のうち、中学総合学習以外の教科・科目は、わざわざ「図書館の傍にある教室」を使う必要が高くはありません。なぜなら、それらの授業の教室利用目的が、図書館資料の利用ではなくコンピュータ利用にあるからです。今年度に総合学習室とスタディホールを利用している各教科・科目のコマ数と、主な教室利用目的を以下の表に示します。

教科科目	利用教室	週あたりコマ数	総合/スタホ利用の必要性	備考
中1-3 総合	総合学習室	12	○	探究学習であるため、図書館資料の利用が必須
中3 社演	総合学習室	4	△	授業担当者次第だが、インターネット検索が中心で、図書館資料利用頻度は少ない。私物情報端末によりHR教室等で実施可能か
中3 英会話	スタホ	4	×	コンピュータ利用が目的。私物情報端末によりHR教室で実施可能
高2 キリ概	スタホ	10	△	授業担当者次第だが、インターネット検索が中心で、図書館資料利用頻度は少ない。私物情報端末によりHR教室等で実施可能か

総合学習室・スタディホールの授業利用実態(2020年度)

2021年度より中学生にも私物情報端末(iPad)が導入されることにより、現在の主たる利用目的である「コンピュータ利用」は、各HR教室で実現可能です。また、中3社会演習や高2キリスト教概論は、授業担当者によって図書活用の度合いに開きがあります。仮に中学総合・中3社演の2科目が図書館で行われる場合、次年度以降は総合学習室とスタディホールで行われる授業は週あたり16/36コマ(稼働率44.4%)にまで削減されます。

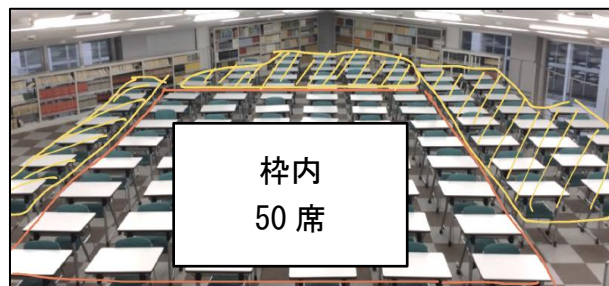
以上のように、総合学習室およびスタディホールを利用する教科・科目がそれほど多くないこと、それらの教科・科目の多くが、上記教室で実施されなければならない理由も薄いことから、総合学習室の機能をスタディホールに移管することは難しくありません。

一方で、放課後や長期休暇中のスタディホールは、高校生の補講の場や、中学生の居残りの場として使用されるケースがしばしばあります。約100席の席数があり、50名以上に対する指導に使えることが、このような利用の背景にあると考えられます。さらに中学降誕劇や合唱コンクールの練習、体育科のダンス発表動画の視聴など、年に数回程度の利用がある教科・科目・課外活動があります。これらの教室需要に「スタディホールを利用しなければならない理由」があるのか、それとも「慣例上スタディホールを利用することになっている」のかは不明です。これに関しては調査が必要ですが、調査の結果、後者が理由であるならば、別の場所での実施に緩やかに移行していくことも検討できるでしょう。

案② スタディホールの席数を減らし、後方を書庫にする

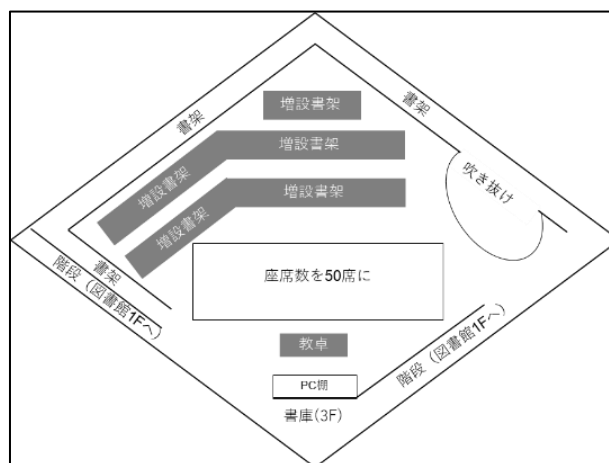
スタディホールの座席数を半分減らし、余剰スペースに書架を増築する案です。案①の最後にも述べた通り、スタディホールは授業や補講等、多目的に利用されています。約 100 席の座席があることが、このような利用の背景にあると考えられます。しかし、スタディホールの使用用途を通常授業用途に限り、50 席～100 席の大規模利用を他施設に移管することができれば、この案も実現可能です。

右図に示すように、スタディホールには現在、枠で囲った部分が 48 席・斜線部分が 50 席あります。斜線部分の 50 席を削減すれば、80 m²ほどのフロア面積を新たに確保できます。リブラリアは現在、スタディホールを「書庫」として扱っているため、このフロア面積への書架増設は、図書館の書庫増設に繋がります。



スタディホールの書庫資料は、2020 年度 4 月時点で本棚に入りきらない状態になりました。多くの資料が床の上に平積みされているか、前後 2 段で本棚に収納されています(p. 1 参照)。平積みや前後 2 段収納は、蔵書管理の観点からみると、本が傷む・資料を探し辛いなどの理由により避けたい管理方法です。

これらの資料の多くは「図書館 1F に置くにはスペースが足りず、やむを得ず書庫に配置したもの、廃棄するには惜しい資料」です。資料価値を考えれば捨てられない。とはいえ現状の保管方法でしか管理ができないため、生徒・教職員の利用に供することができない状態。そのようなジレンマが発生しているのが、スタディホール(書庫)の現状です。



案①と比べて大幅な書架増築に繋がるわけではありませんが、書庫としてのスタホに書架を増築することができれば、配架スペース不足の解消に繋がります。もちろん、後方に向かうにつれ天井が低くなるため、本棚の高さをあまり取れないことと、後から施設内に 2F を増設したため、図書の重みによる耐荷重の問題をクリアできるかを検討する必要があります。

案③ 高校の空き教室に図書館分室をつくる

最後は高校の空き教室に二つ目の図書館をつくる案です。めぼしい場所は現在のところ見つかりませんが、生徒数減に伴って教室に空きが生まれることは予想できます。高校用図書館と中学用図書館の 2 施設を、スタッフが運営していくことも考えられます。どのような資料をどちらの図書館に配架するのか、貸出・返却のシステムは現在確率しているものをそのまま使うのかなど、運営の仕組みを作っていく必要がある案です。



総合図書館 清教学園リブラリア
2020 年度事業報告

発行日:2021 年 6 月 23 日

著者:清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本:清教キャンパス

連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。